

2018年度決算説明会(2019年5月9日開催)

主な質疑応答の内容(要旨)

※ 説明会開催日(2019年5月9日)時点の情報に基づく内容です

Q. 2018年度の売上収益は2017年度を下回っていますが、事業利益は大きく改善しています。この要因について教えてください。

A. 経営資源の有効活用と財務体質の強化を図るために実施した固定資産の譲渡により、約300億円の固定資産売却益を計上しました。また、生産性の改善や効率化などにより、当社の基礎的な収益力が向上していることも増益の一因です。

Q. 2019年度の見通しでは、いずれのドメインも増益の予定ですが、その要因を教えてください。

A. パワーに関しては、2018年度と比べて売上収益が増加する見込みであり、増収による増益を見込んでいます。

インダストリー&社会基盤については、一部不採算事業の手当てが2018年度に完了したことなどにより、2019年度は本来の事業規模に見合った利益を創出できると期待しています。

航空・防衛・宇宙については、MRJの開発費減少や民間航空機の増収による増益が主な要因です。

Q. ここ数年、安定的にキャッシュフローを創出できていますが、今後はどのように成長投資を行っていくのでしょうか？

A. 成長投資に関しては、例えば、物流機器事業における北米販売会社の買収のように、短期間にある程度手堅いリターンを狙ったものと、中長期的な視野に立った投資のバランスが重要だと考えています。今後、成長推進部門を設け、各地域とも連携しながら、成長投資を推進していきます。

以上